

| | | |
|-----------|--|---|
| 科目名 | 専門演習 I A | |
| 担当者 | 志賀 玲子 / SHIGA, Reiko | |
| 科目情報 | 法律 / 必修 / 前期 / 演習 / 2単位 / 3年次 | |
| 科目概要 | 授業内容 | まず、生涯学習とキャリア教育の理論・事例・方法・情報などを知るために、テキストを読む。報告者が分担部分についてまとめ、報告し、論題を提起する。それをもとに全体で議論する。次に、体験や実践、外部との交流の機会を設け、様々な局面でプレゼンテーションを行う。そして、それらを生涯学習・キャリア教育の観点から振り返る。 |
| | 到達目標 | ①生涯学習・キャリア教育に関わる問題や論点について報告し議論する中で、自分の言葉で自分の意見を筋道立てて述べる「発信力」を向上させる。 ②ゼミ生同士が自己開示を楽しみつつ交流することで、社会生活で必須の「コミュニケーション力」を高める。 ③職場・地域・家庭生活について生涯学習の観点から意味づけし、実際の体験をもとに就業観・人生観・地域観を醸成する。 ④自己のアイデンティティの確立と進路探索、生涯開発を意識した自己教育を実践し、継続させるようになる。 |
| 授業計画 | (1) オリエンテーション (2) ブレーン・ストーミングやフリー・ディスカッションをしながら、「自己開発シート」を作る。 (3) " (4) テキストをもとに報告し、議論する。 (5) " (6) " (7) " (8) " (9) " (10) " (11) " (12) それぞれが体験を行う。 (13) " (14) " (15) 総まとめ | |
| 自学自習 | 事前学習 | ・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。 |
| | 事後学習 | ・学んだ内容について、常に自己にひきつけて考察し、書きとめていくこと。 |
| 使用教材・参考文献 | 【教】香川正弘ほか編 『よくわかる生涯学習』 ミネルヴァ書房 2008年 【参】渡辺峻編著『大学生のためのキャリア開発入門』 中央経済社 2008年 | |
| 成績評価方法と基準 | 出席・参加態度 (70%)、プレゼンテーション (30%) によって総合的に評価する。 | |
| 備考 | 懇親会やゼミ旅行など課外での活動も予定しているので、積極的な参加と、人との出会いを大事にして楽しむ姿勢を求める。また、ゼミ生の希望に沿って、様々な実践や交流の場を設けたいので、率先して提案してほしい。 | |